

第 11 回学校建設準備委員会が開催されました

委員会の議事録
と資料(一部)は
こちらから➡



3月17日、町民センター3階講堂において「第11回真鶴町学校建設準備委員会」が開かれました。今回のくじは円形で、二宮尊徳の教えの一つである「一円融合」の意味が込められており、「真鶴町の学校と地域が一つの輪となって融和し、発展していくように」という事務局の言葉から会議が始まりました。

今回は、「基本構想・基本計画(案)」について最終協議を行いました。それでは第11回学校建設準備委員会の協議内容等について報告します。



= 基本構想・基本計画について最終協議を行いました！ =

- 今後立ち上げる予定の「幼小中一貫教育学校運営協議会(仮称)」のメンバーを公募で求めるなどして、多くの方に学校づくりに関わってもらう仕組みをつくってほしい。
- 学校と地域を繋ぐ役割の、スクールコーディネーター(地域学校協働活動推進員)は、「複数体制にする」「学ぶ姿勢のある人」を選ぶことが大切である。
- 今後、新しい学校のカリキュラムを、「どういった時期にどういったステップを踏んで検討していく」ということがわかると町民は安心できる。



- カリキュラムづくりは、トップダウンだと学校の先生たちにとって、やらされ感満載で、負担感の大きなものになってしまう。先生たちが「こんな教育をしたい」「こんな活動をしたい」と主体的に取り組めるようにすることが大切である。
- コミュニティゾーンは「地域の人たちも利用できる場」だと思うが、学校ゾーンとの間で防犯面や避難所利用時等を含めてトラブルがおきないように工夫してほしい。
- 学校図書館を、子どもも地域の方も集える「みんなの場」とするために、入りやすさ、居心地のよさ、セキュリティの確保が必要である。

= 基本構想・基本計画が完成しました！ =

2023(令和5)年6月より計11回開催しました、真鶴町学校建設準備委員会において、様々な見地から新たに設置する真鶴町小中一貫教育校の施設・教育環境のあり方について熟議を重ねてきました。町民の皆様からもご意見をいただきながら作成を進めていました「真鶴町小中一貫教育校建設基本構想・基本計画」が、2025(令和7)年3月27日の教育委員会定例会において審議され、可決承認されました。

今後、この基本構想・基本計画をもとに、建物の構造や配置、機能や設備、建物内外のデザイン等をまとめる基本設計段階に入ります。順次、情報を公開してまいります。

※「真鶴町小中一貫教育校建設基本構想・基本計画」は、町 HP
右の二次元コード(町 HP)からご覧いただけます。



= 城北自治会との意見交換会を行いました！ =

3月8日(土)、城北スクエアにおいて、新校建設地である城北自治会の役員の皆様との意見交換会を行いました。いただいたご意見について、しっかりと検討を進めてまいります。今後、各自治会との協議や住民説明会を開催していく予定です。

いただいた主な意見(抜粋)

- 現在の真鶴中学校の体育館を取り壊す前の、避難所の指定変更の必要性について
- 建設工事期間中の工事車両の出入りの際の安全確保について
- 新しい学校の体育館の地域への開放について
- グラウンドの砂塵対策について
- 防音対策について
- テニスコートの管理について

